

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
地歴・地理総合	2	わたしたちの地理総合 世界から日本へ（二宮書店） 高等地図帳（二宮書店）	
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</li> <li>位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</li> <li>よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。</li> </ul>		
単元	学習内容	到達度目標	
地図とGISの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>球面上の世界</li> <li>国家の領域と領土問題</li> <li>国内や国家間の結びつき</li> <li>日常生活のさまざまな地図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解することができる。</li> <li>現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめることができる。</li> <li>現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現することができる。</li> </ul>	
生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境と生活文化</li> <li>産業の発展と生活文化</li> <li>言語・宗教と生活文化</li> <li>グローバル化の進展と生活文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解することができる。</li> <li>世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。</li> </ul>	
地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口・食糧問題</li> <li>居住・都市問題</li> <li>資源・エネルギー問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解し、考察することができる。</li> </ul>	
生活圏の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境と防災</li> <li>持続可能な地域づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の自然環境、地形、気候、地域の特徴を知り、防災や持続可能な地域づくりの大切さについて考察することができる。</li> </ul>	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
地歴・地理探究	2	地理探究（二宮書店） 高等地図帳（二宮書店）	
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図やGISなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べる技能を身に付けるようにする。</li> <li>位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力を養う。</li> <li>よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。</li> </ul>		
単元	学習内容	到達度目標	
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>地形</li> <li>気候と生態系</li> <li>世界各地の自然と生活</li> <li>日本の自然環境と防災</li> <li>地球環境問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などを理解することができる。</li> </ul>	
資源と産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林水産業</li> <li>資源・エネルギー</li> <li>工業</li> <li>第3次産業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や資源・エネルギー、食料問題の現状や要因などを理解することができる。</li> </ul>	
人・モノ・金のつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通・通信</li> <li>貿易・観光</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などを理解することができる。</li> </ul>	
人口、村落・都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口</li> <li>村落・都市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口、都市・村落などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などを理解することができる。</li> </ul>	
文化と国家	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活文化と言語・宗教</li> <li>国家とその領域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取組などを理解することができる。</li> </ul>	
地域区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の地域区分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料を基に世界を幾つかの地域に区分する方法や地域の概念、地域区分の意義などを理解することができる。</li> </ul>	
現代世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国・朝鮮半島・東南アジア</li> <li>南アジア・西アジア・中央アジア</li> <li>北アフリカ・サブサハラアフリカ</li> <li>ヨーロッパ・ロシア</li> <li>アングロアメリカ</li> <li>ラテンアメリカ・オーストラリア</li> <li>ニュージーランドと島嶼国</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などを理解することができる。</li> </ul>	
現代世界におけるこれからの日本の国土像	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代日本に求められる国土像</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想する重要性を理解することができる。</li> </ul>	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
地歴・歴史総合	2	新選歴史総合（東京書籍）	高校生のためのふるさと富山 （富山県教育委員会）
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</li> </ul>		
単元	学習内容	到達度目標	
歴史の扉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史と私たち</li> <li>・歴史の特質と資料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活や身近な地域などにみられる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを資料を活用して理解する。</li> </ul>	
近代化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代化への問い</li> <li>・結びつく世界と日本の開国</li> <li>・国民国家と明治維新</li> <li>・近代化と現代的な諸課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを理解する。</li> <li>・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを理解する。</li> </ul>	
国際秩序の変化や大衆化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際秩序の変化や大衆化への問い</li> <li>・第一次世界大戦と大衆社会</li> <li>・経済危機と第二次世界大戦</li> <li>・国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を活用して、国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察する。</li> <li>・第一次世界大戦の推移と大戦後に世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを理解する。</li> <li>・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴を理解する。</li> <li>・第二次世界大戦の推移と大戦後の世界に与えた影響、大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</li> </ul>	
グローバル化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化への問い</li> <li>・冷戦と世界経済</li> <li>・世界秩序の変容と日本</li> <li>・現代的な諸課題の形成と展望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用し、グローバル化に伴う生活や社会の変容について主体的に考察する。</li> </ul>	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
地歴・世界史探究	4	高校世界史 (山川出版社)	
科目の概要と目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。		
単元	学習内容	到達度目標	
第Ⅰ部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文明の成立と古代文明の特質</li> <li>・ 中央ユーラシアと東アジア世界</li> <li>・ 南アジア世界と東南アジア</li> <li>・ 世界の展開</li> <li>・ 西アジアと地中海周辺の国家の形成</li> <li>・ イスラーム世界の成立とヨーロッパ世界の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人類の進化の過程と食料生産革命の意義について理解できる。</li> <li>・ 人類の誕生、農耕・牧畜の始まり、都市文明の成立を経て、諸地域にそれぞれの自然に対応して独自の世界が形成されていったことが理解できる。</li> <li>・ イスラーム世界の形成と発展の過程の概要が理解できる。</li> <li>・ 西ヨーロッパ世界と東ヨーロッパ世界の形成の過程や特質、キリスト教との関わりが理解できる。</li> </ul>	
第Ⅱ部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イスラーム教の伝播と西アジアの動向</li> <li>・ ヨーロッパ世界の変容と展開</li> <li>・ 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</li> <li>・ 大交易・大交流の時代</li> <li>・ アジアの諸帝国の繁栄</li> <li>・ 近世ヨーロッパ世界の動向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8世紀以降のイスラーム教の各地への拡大と伝播の背景や状況を考察し、今日への影響を含めて理解できる。</li> <li>・ 宋から清に至る中国王朝の変遷と周辺地域との関連について考察し、共通点や相違点を理解できる。</li> <li>・ 中世から近世に至るヨーロッパの情勢を考察し、社会の動きや文化の特徴と関連付けて理解できる。</li> </ul>	
第Ⅲ部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業革命と環大西洋革命</li> <li>・ イギリスの優位と欧米国民国家の形成</li> <li>・ アジア諸地域の動揺</li> <li>・ 帝国主義とアジアの民族運動</li> <li>・ 第一次世界大戦と社会の変容</li> <li>・ 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命を通して欧米で国民国家が形成された過程が理解できる。</li> <li>・ 列強の進出に抵抗するアジア諸国の民運動や立憲運動の展開を多面的・多角的に考察し、アジア諸国の変革を理解できる。</li> <li>・ 第一次世界大戦から現在に至る歴史的過程の概要を理解できる。</li> </ul>	
第Ⅳ部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冷戦と第三世界の台頭</li> <li>・ 冷戦の終結と今日の世界</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際対立と国際協調、科学技術と現代文明などの観点から20～21世紀の歴史の特質を考察し、未来を展望しようとする意欲を持つことができる。</li> </ul>	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
地歴・日本史探究	4	日本史探究 (東京書籍)	
科目の概要と目標	我が国の歴史の展開について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に理解するとともに、資料を活用して多面的・多角的に考察する力や表現する力を身につけ、歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題を主体的に探究しようとする態度や資質・能力を養う。		
単元	学習内容	到達度目標	
先史・古代の日本と東アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先史社会の生活と文化</li> <li>・歴史資料と先史・古代の展望</li> <li>・古代社会の形成と展開</li> <li>(1) 律令国家の形成と古代文化の展開</li> <li>(2) 摂関政治と貴族文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料を活用しながら、原始社会の人々の生活の変化、ヤマト朝廷による統一、律令に基づく古代国家の形成と推移及び文化の展開、摂関政治と貴族文化について、東アジア世界の動きと関連づけて理解し、考察することができる。</li> </ul>	
中世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中世社会の成立</li> <li>・歴史資料と中世の展望</li> <li>・中世社会の展開</li> <li>(1) 武家政権の成立と朝廷</li> <li>(2) 武家支配の広がりとの国際交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料を活用しながら、武家政権の成立から戦国時代にいたる武家支配の展開と社会の変化や文化の発展について、東アジア世界の動向と関連づけて理解し、考察することができる。</li> </ul>	
近世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世社会の形成</li> <li>・歴史資料と近世の展望</li> <li>・近世社会の展開</li> <li>(1) 幕藩体制の確立</li> <li>(2) 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料を活用しながら、織豊政権及び幕藩体制の特色と推移、社会・文化の動向について、国際関係の変化やその影響と関連づけながら理解し、考察することができる。</li> </ul>	
近現代の地域・日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代社会の幕開け</li> <li>・歴史資料と近現代の展望</li> <li>・近現代社会の展開</li> <li>(1) 近代的制度の導入と新しい国際関係</li> <li>(2) 国民国家と資本主義の成立</li> <li>(3) 両大戦間期の日本</li> <li>(4) 第二次世界大戦と日本</li> <li>(5) 占領と改革</li> <li>(6) 国際社会への復帰と高度経済成長</li> <li>(7) アジア情勢の変化と経済大国日本</li> <li>(8) 新しい国際秩序と日本の課題</li> <li>・現代の日本の課題の探究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料を活用しながら、開国と幕府の滅亡、新政府の成立からの明治時代の近代日本の歩みについて、アジア及び欧米諸国との関係の推移に着目しながら、我が国の立憲国家としての展開について理解し、考察することができる。</li> <li>・第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる我が国の歴史について、国際情勢と国内の動きを関連づけながら理解し、考察することができる。</li> <li>・戦後の占領下における大改革、冷戦下の経済復興と国際社会への復帰、冷戦終結とグローバル化など、国際情勢と国内の動きを関連づけながら理解し、考察することができる。</li> <li>・現代の日本が抱える課題を主体的に追究しようとする姿勢をもつことができる。</li> </ul>	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
地歴・地理A	2	基本地理A（二宮書店） 新詳高等地図（帝国書院）	
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀や地図の活用、新聞やインターネット等の情報の活用をとおして、基本的な地理的スキルを身につけ、地形や気候、産業、文化などの地理的認識を養う。</li> <li>世界の諸地域の自然や人々の生活、文化を学び、それぞれの地域がもつ地理的特徴を理解させる。</li> <li>人口問題や食料問題、環境問題等の地球規模の課題について学び、それぞれの地域が抱える問題を理解し、対策や国際協力のあり方について考察する力を育てる。</li> </ul>		
単元	学習内容	到達度目標	
球面上の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀と地図</li> <li>国と国のむすびつき</li> <li>地図で見る世界のつながり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の運動や時差、地球儀や世界地図の特性、日本の位置と領域、国境問題などの学習をとおして、球面上の世界の特色を理解し、地図の活用方法や世界の中での日本の位置について理解することができる。</li> <li>観光、貿易、交通の発達など人や物の国際間の移動について学習し、互いに緊密に結びついていることを理解することができる。</li> </ul>	
自然・生活・文化と私たちの暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>地形と私たちの暮らし</li> <li>気候と私たちの暮らし</li> <li>経済・文化と私たちの暮らし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境（地形や気候）、資源、産業、生活文化に関する地域性について、世界全体を視野に入れながら理解することができる。</li> <li>現代世界が多様な地域から構成されていることを、地理的な視点で系統立てて理解する視点や方法を身につけることができる。</li> </ul>	
世界各地の生活・文化	中国、朝鮮半島、東南アジア、南アジア、中央アジア・西アジア・北アフリカ、サハラ以南アフリカ、朝鮮半島、東南アジア、南アジア、中央アジア・西アジア・北アフリカ、サハラ以南アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の各地域をとりあげ、自然環境や民族、文化の特徴、主要産業の移り変わりなどについて項目別に学習し、その地域の地理的特徴を多面的に捉えることができる。</li> <li>文化や産業のグローバル化の流れを把握し、日本と各地域とのつながり、国際関係のこれからの課題について考察することができる。</li> </ul>	
地球的課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口問題</li> <li>食料問題</li> <li>居住・都市問題</li> <li>資源・エネルギー問題</li> <li>環境問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口と食料問題について、世界の人口の動きと食料生産の地域的な偏りに着目し、発展途上国と先進国にみられるそれぞれの課題とこれからの課題について考察することができる。</li> <li>世界の環境、エネルギー問題に関心を持ち、その原因や現状、地域による現れ方の違いについて理解を深め、これから世界が共同で取り組むべき対策について考察することができる。</li> </ul>	
生活圏の諸問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図とGISの利用</li> <li>日本の自然環境と防災</li> <li>生活圏の諸問題と地域調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の自然環境、地形、気候の特徴を知り、防災の大切さやその方法について考察することができる。</li> </ul>	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
地歴・地理B	4	地理B（東京書籍） 新詳高等地図（帝国書院）	
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の地理的な事柄（自然環境、資源、産業、生活文化など）を系統だて学習し、世界に対する地理的な認識力を養う。</li> <li>現代世界を構成する各地域がもっている地理的特色を、多面的・多角的に学習し、その地域性を把握する力を育てる。</li> <li>世界各地で起こっている地球的課題について地域性をふまえて学習し、世界的な現状や地域による現れ方の違い、国家間の結びつきやこれからの対策などを広い視野から考察する力を養う。</li> </ul>		
単元	学習内容	到達度目標	
さまざまな地図と地理的技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>球体としての地球</li> <li>地理情報と地図</li> <li>地理情報を地図化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の運動や時差、地球儀や世界地図の特性についての学習をとおして、球面としての世界の特色を理解し、地図の活用方法を身につけることができる。</li> </ul>	
現代世界の系統地理的考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境</li> <li>産業と資源</li> <li>人口、都市・村落</li> <li>生活文化、民族・宗教</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の地形や気候の特徴について、写真資料や地形図、グラフ等の資料を活用して理解し、人間生活への影響について関心を高めるとともに、地域の多様性をとらえる視点を身につけることができる。</li> <li>世界各地の産業の特色について、自然とのかかわりや地域性に着目して理解するとともに、産業のグローバル化による影響とこれからの課題について、関心をもつことができる。</li> <li>鉱産資源やエネルギーの生産と消費の動向について関心をもち、その利用において解決していくべき課題について考察することができる。</li> <li>衣食住などの生活文化の違いを知ることで、世界の多様性への関心を高めるとともに、世界の宗教・言語の特色と分布、民族と国家の関係を理解し、現代の領土問題について考察することができる。</li> </ul>	
現代世界の地誌的考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の地域区分</li> <li>現代世界の諸地域</li> <li>東アジア・東南アジア</li> <li>南アジア・西アジアと中央アジア</li> <li>アフリカとサハラ以南アフリカ</li> <li>ヨーロッパ・ロシア</li> <li>アングロアメリカ</li> <li>ラテンアメリカ</li> <li>オセアニア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域をとりあげ、自然環境や民族、文化の特徴、主要産業の移り変わりなどについて項目別に学習し、その地域の地理的特徴を多面的に捉えることができる。</li> </ul>	
現代世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本が直面する地理的な諸課題</li> <li>日本が抱える地理的諸課題を探究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの地理学習の内容を生かし、地球規模の視点から、日本の抱える地理的な諸課題を探究し、その解決の方向性について考察することができる。</li> </ul>	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
地歴・世界史 A	2	新版世界史 A 新訂版 (実教出版)	高校生のためのふるさと富山 (富山県教育委員会)
科目の概要と 目標	近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		
単元	学習内容	到達度目標	
世界史へのいざ ない  ユーラシアの 諸文明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然環境と歴史</li> <li>・ ユーラシアの諸文明と交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然環境、生活、宗教などに着目しながら、ユーラシアの各地で形成された諸地域世界について、それぞれの特質や海と陸における交流を概観し、地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義に気づくことができる。</li> </ul>	
一体化する世界 と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一体化に向かう世界と日本</li> <li>・ ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊かなアジアとの直接交易をめざしたヨーロッパが大航海に乗り出して地球規模での交流が始まったことを理解できる。</li> <li>・ アジアでは17・18世紀に政治・文化が成熟して地域特有の社会が形成されたこと、ヨーロッパでは絶対王政のもとで主権国家体制が成立したことを理解できる。</li> <li>・ 産業革命や市民革命によって、技術の進歩や政治・経済上の変革を経験したヨーロッパが、アジアやアフリカなどを植民地や影響下としていったことを理解できる。</li> <li>・ ヨーロッパを中心として世界の一体化が進む中で、アジア諸地域の伝統的な社会が変容させられていったことを理解できる。</li> </ul>	
地球社会と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代世界のあゆみ</li> <li>・ 第二次世界大戦後の世界</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヨーロッパを中心とした世界の枠組みが、二度の世界大戦によって変化していったことを理解できる。</li> <li>・ 第二次世界大戦後に深刻化した東西冷戦の推移と、冷戦に組み込まれながらもアジア・アフリカ諸国が独立を達成していったことを理解できる。</li> <li>・ 環境問題、南北問題、地域紛争、民族問題、領土問題など、今日の人類が直面している諸問題について主体的に考察することができる。</li> </ul>	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
地歴・世界史B	4	高校世界史 改訂版 (山川出版社)	高校生のためのふるさと富山 (富山県教育委員会)
科目の概要と目標	古代から現代までの世界の歴史を、各時代、各地域の重要な事項を中心に学ばせる。世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		
単元	学習内容	到達度目標	
第Ⅰ部	<ul style="list-style-type: none"> <li>先史の世界</li> <li>オリエントと地中海世界</li> <li>アジア・アメリカの古代文明</li> <li>内陸アジア世界・東アジア世界の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人類の進化の過程と食料生産革命の意義について理解できる。</li> <li>人類の誕生、農耕・牧畜の始まり、都市文明の成立を経て、諸地域にそれぞれの自然に対応して独自の世界が形成されていたことが理解できる。</li> </ul>	
第Ⅱ部	<ul style="list-style-type: none"> <li>イスラーム世界の形成と発展</li> <li>ヨーロッパ世界の形成と発展</li> <li>内陸アジア世界・東アジア世界の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イスラーム世界の形成と発展の過程の概要が理解できる。</li> <li>西ヨーロッパ世界と東ヨーロッパ世界の形成の過程や特質、キリスト教との関わりが理解できる。</li> <li>モンゴル帝国の興亡の過程やその動向がユーラシア諸地域の交流に果たした役割等について理解できる。</li> </ul>	
第Ⅲ部	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジア諸地域の繁栄</li> <li>近世ヨーロッパ世界の形成</li> <li>近世ヨーロッパ世界の展開</li> <li>近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立</li> <li>欧米における近代国民国家の発展</li> <li>アジア諸地域の動揺</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>16～18世紀のアジアで、中華帝国やイスラーム帝国が繁栄したことが理解できる。</li> <li>大航海時代、ルネサンス、宗教改革を通して近代ヨーロッパが成立したことが理解できる。</li> <li>ヨーロッパで主権国家体制が整い資本主義が確立していった過程が理解できる。</li> <li>産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命を通して欧米で国民国家が形成された過程が理解できる。</li> </ul>	
第Ⅳ部	<ul style="list-style-type: none"> <li>帝国主義とアジアの民族運動</li> <li>二つの世界大戦</li> <li>冷戦と第三世界の独立</li> <li>現在の世界</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>帝国主義時代の世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容が理解できる。</li> <li>第一次世界大戦から現在に至る歴史的過程の概要を理解できる。</li> <li>環境問題、南北問題、地域紛争、民族問題、領土問題など、今日の人類が直面している諸問題について主体的に考察することができる。</li> <li>国際対立と国際協調、科学技術と現代文明などの観点から20～21世紀の歴史の特質を考察し、未来を展望しようとする意欲を持つことができる。</li> </ul>	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
地歴・日本史B	4	新選日本史B (東京書籍)	
科目の概要と目標	我が国の古代から現代までの歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		
単元	学習内容	到達度目標	
古代国家の形成と貴族文化の誕生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原始社会の生活と文化</li> <li>・農耕社会の形成と大陸文化の摂取</li> <li>・律令国家の形成と古代文化の展開</li> <li>・摂関政治と文化の和様化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原始社会の人々の生活の変化、ヤマト朝廷による統一、律令に基づく古代国家の形成と推移及び文化の展開について、東アジア世界の動きと関連づけて理解することができる。</li> </ul>	
武家社会の形成と生活文化のめばえ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中世社会の成立</li> <li>・武家社会の形成と東アジア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武家政権の成立から戦国時代にいたる武家政権の展開と社会の変化や文化の発展について、東アジア世界の動向と関連づけて理解することができる。</li> </ul>	
近世社会の形成と庶民文化の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ文化との接触と国内統一</li> <li>・幕藩体制の成立</li> <li>・近世社会の発達と町人文化</li> <li>・幕藩体制の動揺と庶民文化の発達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・織豊政権及び幕藩体制の特色と推移、社会・文化の動向について、国際関係の変化やその影響と関連づけながら理解することができる。</li> </ul>	
近代国家の形成と国民文化の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開国から明治維新へ</li> <li>・立憲政治の形成と国民文化</li> <li>・日本の近代化と東アジア</li> <li>・デモクラシーと第一次世界大戦</li> <li>・激動する世界と日本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開国と幕府の滅亡、新政府の成立からの明治時代の近代日本の歩みについて、アジア及び欧米諸国との関係の推移に着目しながら、我が国の立憲国家としての展開について考察することができる。</li> <li>・第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる我が国の歴史について、世界情勢と国内の動きを関連づけて考察することができる。</li> </ul>	
現代の世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・占領と国内改革</li> <li>・国際社会への復帰と高度経済成長</li> <li>・石油ショックと低成長の時代</li> <li>・新しい国際秩序と日本の課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦の終結から今日にいたる我が国の歴史について、世界の動向と関連づけて考察するとともに、広い視野から日本の文化や課題について認識することができる。</li> </ul>	